

第20回 大鹿村リニア連絡協議会を開催

・リニア工事による影響調査の情報や住民意見などを共有し、リニア工事全般に関わる事項について連絡調整を行うことを目的に、JR東海、施工業者、長野県、大鹿村及び住民による「大鹿村リニア連絡協議会」が6月24日、交流センターに於いて関係者51名が出席し開催されました。また、高森町より担当職員が出席し、大鹿村のリニア工事で生じる発生土の活用について説明がありました。また今年度最初の協議会となり、協議会の正副会長の選出が行われました。以下に概要をお知らせします。

■第20回 リニア連絡協議会（令和3年6月24日 午後7時00分～9時15分 開催）

○第5期正副会長を選出 （会長）北澤 健 （副会長）山本 正栄

○委員の構成

（大鹿村関係委員）大鹿村議会、農業委員会、教育委員会、商工会、観光協会、建設業協会、飯伊砂利組合、下伊那漁業組合大鹿支部、村内27自治会長、大鹿村

（長野県関係委員）飯田建設事務所、リニア整備推進事務所、南信州地域振興局 各担当者

（リニア事業関係委員）JR東海、施工業者 各担当者

①（主）松川インター大鹿線改良工事について

・（主）松川インター大鹿線道路拡幅工事について、9月末（予定）までに完了する説明があり、区間2については、6月21日に工事が完了し供用を開始している報告がありました。



工事着手前



工事完了後

② 半の沢道路改築に関する工事について

●事業の目的

- ・老朽化した半の沢橋を盛土活用して道路改良
- ・道路改良により、道路幅員拡幅、平面線形を改善し、自動車交通の安全性向上、円滑化

●工事の計画

- ・準備工→盛土工・排水工→迂回路工→半の沢橋撤去工→盛土工・排水工→道路工→完了

●工事中の安全管理

- ・日常点検に加えて、盛土状態を計測管理することで安全管理を実施します。
- ・日常点検や計測管理等について、大鹿村・長野県・JR東海等が確認・共有できるような連絡体制を構築します。



完成イメージ

●工事用車両の運行

- ・運行時間帯：８時００分～１８時００分（発生土の運搬）

７時３０分～１９時００分（資機材の運搬）

休 工 日：日曜日、その他長期休暇（年末年始等）

○上記の時間帯以外や休工日に作業や運搬を行うことがあります。その場合は事前に地元の皆様にお知らせします。

○地域のイベント等が開催される場合は、運行時間などについて、事前に調整させていただきます。

《松川インター大鹿線道路改良完了までの当面の運搬について》

種別	最大台数（往復）
発生土の運搬	２００台／日 ※月４日程度
資機材の運搬	１０台／日

※資機材の運搬は、大鹿村・中川村それぞれより運搬があります。

③ 南アルプストンネル工事について

【小渋川非常口】

- ・先進坑の延長約１６００ｍのうち、約５割の掘削が完了しました。
- ・先進坑を掘削した発生土のうち、自然由来重金属等の溶出試験の基準値を下回った発生土については、公共事業に活用していただいています。
- ・基準値を上回った発生土については、環境保全計画に基づき、仮置き場Ｅの要対策土仮置き場に仮置きしています。（前回３月協議会で説明した以降、基準値を上回った発生土は１日分のみです）。要対策土の搬出計画については、今後ＪＲ東海より改めて説明があります。

【除山・釜沢非常口】

- ・除山非常口は、斜坑延長の約７割の掘削が完了しています。
- ・釜沢非常口は、斜坑延長の約７割の掘削が完了しています。
- ・発生土仮置き場Ｂ（三正坊）は造成工事を行っています。
- ・発生土仮置き場Ａ（除山横）の東側への拡幅工事について、行政手続きが完了次第、拡幅部の工事に着手します。



④ 伊那山地トンネル（青木川工区）工事について

【青木川非常口】

- ・青木川非常口は、斜坑延長（約６００ｍ）の約８割の掘削が完了しています。
- ・現在は昼間作業のみの発破掘削を行っています。今後、工事の進捗に応じて夜間作業を開始させていただきます。
- ・深ヶ沢地籍の発生土置き場（青木川）では造成工及び水路設置工を行っています。



青木川斜坑 施工状況



発生土置き場（青木川）施工状況

■国道152号改良工事状況

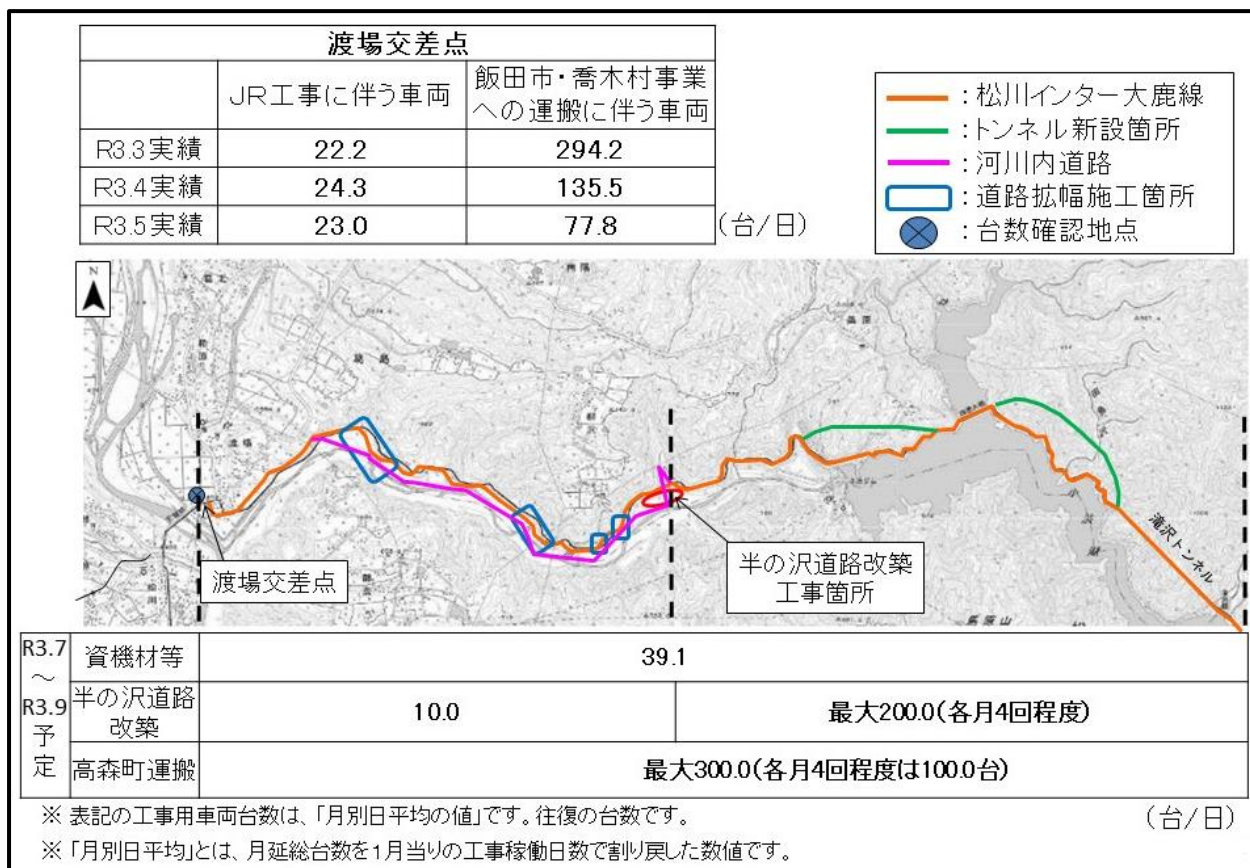
○区間3（下古川）

- ・5月より着手（6月末工事完了）

○区間8（下樽渡橋）

- ・現在、橋梁設計を実施しており、迂回路の工事に着手しています。本年度は、現橋の撤去と下部工の工事を予定しています。

■（主）松川インター大鹿線 工事用車両通行台数



■大鹿村内工事用車両台数（台/日）

		①大鹿村 役場前	②下青木 薬師堂前	③沢戸橋	④福德寺	⑤深ヶ沢
JR工事に 伴う車両	R3.3 実績	20.9	22.0	18.0	17.4	49.0
	R3.4 実績	20.9	22.0	40.0	23.0	159.0
	R3.5 実績	17.2	20.0	42.5	19.0	112.0
	R3.7～9 予定	40.1	21.0	39.6	44.7	68.0
半の沢道路 改築工事	R3.7～9 予定	200 (各月4回程度)		200 (各月4回程度)		
飯田市・喬木村事業への 運搬に伴	R3.3 実績	165.0	71.0	94.0		
	R3.4 実績	97.8	0.0	97.8		
	R3.5 実績	99.7	0.0	99.7		
	R3.7～9 予定					
高森町への 運搬	R3.7～9 予定	300.0	140.0	160.0		

※工事用車両台数は、月延総台数を1月当りの工事稼働日数で割り戻した数値です。

⑤ 公共事業活用について

■高森町下市田産業用地整備事業について

- 高森町土地利用計画で天竜川河川敷にある下市田工業団地周辺を、リニアの開発の効果にもよる工業誘致や進出の期待、可能性を踏まえ、産業の確保というまちづくりの観点から、「工業地ゾーン」として設定をしました。それに従い、下市田工業団地北の用地約15haを下市田産業用地として分譲するべく準備を進めており、7月から発生土の運搬を予定しています。



高森町下市田産業用地整備事業造成予定地

- 運搬時期：令和3年7月～令和4年9月（月曜日～土曜日及び祝日）
- 運搬時間：8時00分～18時00分
- 運搬土量：約150,000m³（東西用地合計）
- 運搬台数：最大300台/日（往復）

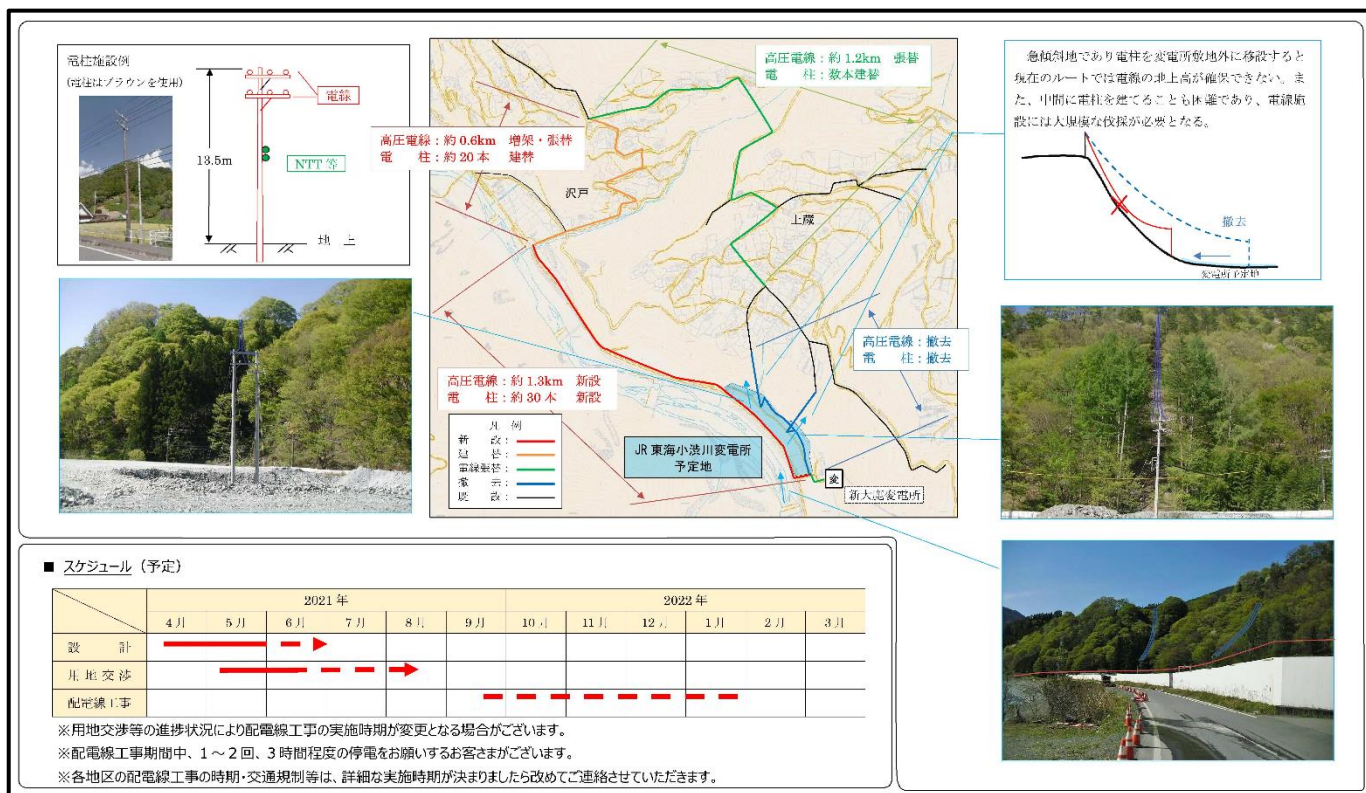
■中部電力パワーグリッド工事について

●送電線工事について

- 中部電力パワーグリッドより送電線工事の進捗状況について説明がありました。本体工事は、6月中旬からNo.23鉄塔～No.22鉄塔間の乗用モノレールの設置に着手しています。
- 伐採作業は、7月からNo.22鉄塔敷内、8月からNo.22鉄塔～No.21鉄塔間の乗用モノレール敷伐採およびNo.23鉄塔敷内の残りの伐採に着手する予定です。
- 2021年度のヘリ運搬は、9月に地質調査のための資機材運搬を計画していましたが、詳細検討の結果、乗用モノレールにて運搬することとしたため運航はありません。本格的な運航は2022年度～を予定しています。（松川町のNo.21鉄塔工事に係るヘリ運航は2021年11月～実施予定）
- ブナの木について残置する説明がありました。

●配電線工事について

- JR東海小渋川変電所予定地に電柱があり移設する必要があるため、現在の変電所予定地の北側斜面を通るルートから、小渋川沿いを通り、沢戸地区を通るルートへ変更を検討している説明がありました。



○次回（第21回）開催日程等について

- 次回開催時期を令和3年9月27日の週とし閉会しました